



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月12日

上場会社名 Delta-Fly Pharma株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4598 URL http://delta-flypharma.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江島 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 黒滝 健一 TEL 03(6231)1278
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	100	—	△770	—	△770	—	△773	—
2020年3月期第3四半期	—	—	△1,223	—	△1,229	—	△1,232	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△171.63	—
2020年3月期第3四半期	△276.70	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、四半期純損失であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,363	1,289	94.1
2020年3月期	2,162	2,056	95.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,283百万円 2020年3月期 2,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300	200.0	△850	—	△850	—	△850	—	△188.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	4,504,600株	2020年3月期	4,504,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	58株	2020年3月期	58株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,504,542株	2020年3月期3Q	4,454,010株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界の医薬品市場は、新型コロナウイルスに対するワクチンの新薬の承認申請が行われ、2020年12月に初めて英国で承認を受け、同国民へのワクチンの接種が開始されました。また、米国では新型コロナウイルス感染の拡大により、医療機関への患者の受診機会が抑制されたことで、多くの医療機関が医薬収入減少で経済的な窮地に陥り、開業医(クリニック)を中心とした医療機関の統合再編が進むとされています。一方、わが国の医薬品市場では、新型コロナウイルスに対するワクチンの国内臨床試験が、バイオベンチャー企業を含む国内外の製薬会社によって開始され、2020年12月、米国ファイザー社と独ビオンテック社が新型コロナウイルスワクチン「BNT162b2」を厚生労働省に特例申請しましたが、未だに感染拡大の影響を受けています。また、2021年4月予定の薬価改定については、2020年12月18日に開催された中央社会保険医療協議会において、薬価収載されている品目の69%が対象として、新薬の59%、長期収載品の88%、後発医薬品の83%が引き下げの対象とすることが決定され、製薬業界にとっては厳しい状況が続くものと予測されます。

当社では、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が続く中で、経済的にも安心して家族のがん患者にも勧められる治療法を提供することを目指して、着実に臨床開発を前進させました。

抗がん剤候補化合物DFP-10917は、米国における臨床第Ⅲ相試験の参加施設をさらに拡大し、症例登録を推進しました。抗がん剤候補化合物DFP-14323は、日本国内における臨床第Ⅱ相試験の結果について、ESMO ASIA CONGRESS 2020(欧州臨床腫瘍学会アジア大会)に引き続き、2021年2月に開催される日本臨床腫瘍学会(JSMO)においても、Mini-Oralセッションでの発表が受理されました。抗がん剤候補化合物DFP-11207は、米国における臨床第Ⅱ相試験の準備を進めると共に、新型コロナウイルス感染拡大による影響を見据えて、日本及び中国における臨床試験の検討を開始しました。抗がん剤候補化合物DFP-14927は、米国における拡大臨床第Ⅱ相試験に向けて、臨床試験責任医師と協議の上、2施設の臨床試験への参加を決定しました。また、抗がん剤候補化合物DFP-10825は、臨床第Ⅰ相試験の開始に向けた前臨床試験を中国において進めました。なお、抗がん剤候補化合物DFP-17729は、日本国内における膀胱がん患者を対象とした臨床第Ⅰ相/Ⅱ相試験が開始し、2020年11月に臨床第Ⅰ相試験の第1症例を登録しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の事業収益は、日本ケミファ(株)とのライセンス契約に伴うマイルストーンの受領により100百万円となりました(前年同四半期は事業収益はなし)。事業費用につきましては、開発パイプラインの臨床試験における医療機関並びに症例数の増加、新たな臨床試験の準備を進めたことなどに伴い、研究開発費が654百万円(前年同四半期比36.6%減)となりました。この結果、営業損失は770百万円(前年同四半期は1,223百万円の損失)、経常損失は770百万円(前年同四半期は1,229百万円の損失)、四半期純損失は773百万円(前年同四半期は1,232百万円の損失)となりました。

なお、当社は医薬品事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績を記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は1,363百万円となり、前事業年度末と比較して798百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が663百万円、売掛金が110百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は74百万円となり、前事業年度末と比較し31百万円減少しました。これは主として、未払法人税等が15百万円、未払金が12百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,289百万円となり、前事業年度末と比較して766百万円減少しました。これは主として、四半期純損失の計上により利益剰余金が773百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月14日の「2020年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,943,908	1,280,212
売掛金	110,000	—
その他	61,833	36,763
流動資産合計	2,115,742	1,316,976
固定資産		
有形固定資産	43,058	42,090
無形固定資産	48	21
投資その他の資産	3,283	4,428
固定資産合計	46,389	46,539
資産合計	2,162,132	1,363,516
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	5,700	1,172
未払金	79,895	67,502
未払法人税等	18,773	2,999
その他	1,575	2,330
流動負債合計	105,944	74,004
負債合計	105,944	74,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,849,185	2,849,185
資本剰余金	2,829,185	2,829,185
利益剰余金	△3,622,055	△4,395,151
自己株式	△126	△126
株主資本合計	2,056,188	1,283,091
新株予約権	—	6,420
純資産合計	2,056,188	1,289,511
負債純資産合計	2,162,132	1,363,516

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
事業収益	—	100,000
事業費用		
研究開発費	1,031,690	654,407
その他の販売費及び一般管理費	191,538	216,475
事業費用合計	1,223,228	870,882
営業損失(△)	△1,223,228	△770,882
営業外収益		
受取利息	425	168
為替差益	—	304
その他	47	210
営業外収益合計	472	683
営業外費用		
支払利息	140	43
為替差損	6,188	—
株式交付費	595	450
営業外費用合計	6,923	493
経常損失(△)	△1,229,679	△770,692
税引前四半期純損失(△)	△1,229,679	△770,692
法人税、住民税及び事業税	2,750	2,404
法人税等合計	2,750	2,404
四半期純損失(△)	△1,232,430	△773,096

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

新株予約権の行使

当第3四半期会計期間終了後、当社が2014年2月23日に発行した第1回新株予約権及び2020年12月24日に発行した第4回新株予約権(行使価額修正条項付)について、新株予約権の行使が行われております。

2021年1月1日から2021年2月11日までの新株予約権の行使の概要は以下のとおりであります。

(1) 第1回新株予約権

①行使された新株予約権の個数		30個
②発行した株式の種類及び株式数	普通株式	15,000株
③資本金増加額		6,000千円
④資本準備金増加額		6,000千円

(2) 第4回新株予約権

①行使された新株予約権の個数		4,000個
②発行した株式の種類及び株式数	普通株式	400,000株
③資本金増加額		215,825千円
④資本準備金増加額		215,825千円

以上により、発行済株式総数は415,000株、資本金及び資本準備金はそれぞれ221,825千円増加し、2021年2月11日時点の発行済株式数は4,919,600株、資本金は3,071,010千円、資本準備金は3,051,010千円となっております。